

子どもたちの声



かるたで知った場所に、家族と出かけました。実際に行くと、もっと燕が好きになりました。



『文句なし食べておいしい燕ラーメン』の札がお気に入りです。みんなで楽しんでいます。



かるたを通して、燕のいろいろな魅力を知りました。かるた大会にも参加しました。



家にもつばめトランプがあります。親しみやすい絵柄で、遊びながら燕の良さを感じています。

遊び⇒学びになる。

楽しいから始まる、ふるさと燕への愛着

燕市には、遊びを通して地域を知ることができる「つばめっ子かるた」と「つばめトランプ」があります。楽しみながら地域の魅力に触れ、「もつと知りたい」という子どもたちの気持ちを育んでいきます。これらは保育園・こども園や学校、家庭などで活用され、親子や友達との会話が広がるきっかけにもなっています。遊びの中で知ったことが、やがて「ふるさとが好き」という気持ちへとつながる。そんな燕市ならではのふるさと教育を支える教材を紹介します。

つばめっ子かるた

●札を取るたび、燕がもっと好きになる。

燕市の歴史や文化、自然、名所、産業などを題材にしたご当地かるた。読み札は市民から寄せられた作品をもとに制作され、絵札は絵本作家の黒井健さんが、一枚一枚描き上げました。市内の保育園やこども園、小学校で活用され、かるた大会も開催されるなど、遊びを通してふるさとを学ぶ教材として親しまれています。



▲つばめっ子かるたの詳細はこちら



つばめトランプ

●合併 20 周年から、新しい遊びを。

合併 20 周年を記念して誕生したトランプ。絵柄は、つばめっ子かるたと同様に黒井健さんがデザインし、カトラリーや良寛など、燕の魅力を温かみのあるイラストで表現しました。パパ抜きや神経衰弱など、いつものトランプ遊びを楽しみながら、子どもから大人まで世代を超えて、燕への親しみを深めることができます。



つばめトランプの詳細はこちら▶



▲デジタル問題集のイメージ

デジタル版がスタート
燕ジュニア検定問題集が、この夏、新しく生まれ変わります。これまで冊子を中心に学習してきた問題集をデジタル化し、スマホやパソコンから気軽に挑戦できるようになりました。

今回、リニューアルのきっかけは、子どもたちだけでなく、保護者や市民の皆さんにも、もっと身近に燕の魅力を知ってほしいという思いからです。子どもたちが学んだことを家庭でも話題にしたり、親子で一緒に問題に挑戦したりすることで、ふるさとへの理解や愛着をさらに深めることができます。

また、問題の内容も最新情報に合わせて見直しました。合併 20 周年に関する内容ははじめ、スポーツ大使や新たな施設など、近年の燕市の話題も盛り込み、今の燕を学べる内容になっています。

デジタル問題集は、夏休みの家庭学習にもぴったりです。ちよつとした空き時間に挑戦したり、家族でクイズを出し合ってみませんか。

point!

01

スマホ・パソコンでも学べる

小学生が学校で使用する端末や、スマホ・パソコンからいつでも挑戦できます。



point!

02

合併 20 周年問題を追加

燕市合併 20 周年を記念し、20 周年にちなんだ新しい問題を追加しました。



point!

03

最新情報を掲載

「うさぎもちハレラテつばめ」や「スポーツ大使」など最新の燕の魅力を問題に反映しました。



あなたは何問解けますか？
(デジタル問題集：8月3日(月)から公開予定)▼



あなたも挑戦!

燕ジュニア検定 — 次の問題にチャレンジしてみよう! —

※答えは 6 ページ下部に記載

【1】うさぎもちハレラテつばめの、2階廊下の1周の長さは約何メートルあるでしょうか。

- ① 約 50 メートル
- ② 約 100 メートル
- ③ 約 150 メートル
- ④ 約 200 メートル



【2】2025(令和 7)年にできた新しい浄水場では、「膜ろ過方式」という浄水処理を採用しています。この「膜」は何でできているでしょうか。

- ① セラミック (陶器)
- ② ステンレス
- ③ プラスチック
- ④ ビニール

